



2016年4月22日
在日米国商工会議所

東京が監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) の 恒久的事務局に選定されたことに祝意を表明

在日米国商工会議所 (ACCJ) は、国際基準設定機関である監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) の恒久的事務局を東京に設立することが決定されたことに祝意を表します。

「ACCJを代表して、国際金融センターとしての日本の重要性が認められたことについて日本政府とりわけIFIARのホスト、金融庁、そして公認会計士・監査審査会 (CPAAOB) に心よりお祝い申し上げます」とACCJのクリストファー・ラフルアー会頭は述べました。

ACCJは、これまで日本がIFIARの恒久的事務局の誘致に立候補したことを強く支持してまいりました。そして、これからもIFIAR恒久的事務局の東京への設置にあたっては、日本政府、IFIAR、その他のステークホルダーに対して出来る限りの協力を行ってまいります。また、東京が有する最先端の技術インフラ、世界有数の交通システム、高度なスキルを備えた多くのグローバル人材はIFIARの恒久的事務局の今後の活動に大きく貢献すると確信しています。

ACCJの副会頭兼金融サービスフォーラムの委員長であるアンドリュー・コンラッド氏は「国際協力を高めるための規制や基準の設定を任とする国際基準設定機関がヨーロッパとアメリカに集中している中で、今回、日本がIFIARの恒久的事務局の設置場所として選ばれました。新たな国際金融規制体制がアジア・太平洋諸国を確実に包含するためには、大局的視点をもつことがより一層重要となります。IFIARの恒久的事務局を東京に設けることは、早いスピードで成長する国際経済の中でIFIARが活動を展開していくにあたって、理想的なプラットフォームを提供することとなるでしょう」と付言しました。

###

1605 J

—在日米国商工会議所について—

在日米国商工会議所 (ACCJ) は、米国企業40社により1948年に設立された日本で最大の外国経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約1000社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係のもと、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間500以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任 (CSR) 活動にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

同件に関するお問い合わせは、在日米国商工会議所 渉外室 (電話: 03-3433-6542; メール: external@accj.or.jp) までお願いいたします。